



創 立 1993年12月1日
 事務局 〒286-0106 成田市取香 500
 ホテル日航成田
 TEL/FAXL 0476-24-5044
 例会場 ホテル日航成田内
 TEL 0476-32-1144

成田コスモポリタンロータリークラブ週報



世界に希望を生み出そう

2023～2024年度 国際ロータリー会長のテーマ
 世界に希望を生み出そう
 【会長 ゴードンR. マッキナリー】

成田コスモポリタンRCターゲット
 「みんなで参画しよう 楽しいクラブ」
 【会長：田中 英之】

第1410回 例会

令和5年10月11日（水）

《 米山記念奨学生 卓話 》

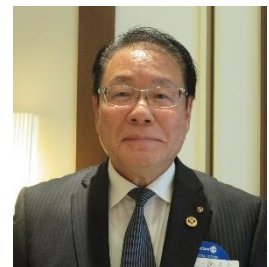
- ◇ 点 鐘 田中 英之 会 長
- ◇ ロータリーソング 我等の生業
- ◇ 四つのテストの唱和 高木 信人 会員



- ◇ お客様紹介 米山記念奨学生 ウニバト 様（君津RC）



- 第2790地区 米山記念奨学委員会
 委員 山藤 利夫 様（富里RC）



米山記念奨学生

ファワーズ ナウハル ムハマド 様



日出学園高等学校 阿部 そよ花 様
お母様 阿部 有紀 様



◇ ニコニコBOX なし

◇ 会長挨拶 田中 英之 会長



イグ・ノーベル賞とは、ノーベル賞のパロディとして1991年に創設された、世界中の独創性に富んださまざまな研究や発明などに対して贈られる賞です。

真面目な研究に対して与えられるノーベル賞に対して、イグ・ノーベル賞は「人々を笑わせ、同時に考えさせる研究」に対してのもので、受賞者には賛辞だけでなく笑いや皮肉をこめて授与されます。

今年の「イグ・ノーベル賞」が発表され、「電気を流した箸やストローで食品の味を変える実験」により、明治大学の宮下芳明教授と東京大学大学院の中村裕美特任准教授が「栄養学賞」を受賞しました。日本人のイグ・ノーベル賞受賞は17年連続となりました。

宮下教授は、四角い電池の電極をなめた経験に触発されて、電気で味覚を変える研究を始めました。2011年に明治大学大学院博士前期課程に在学していた中村特任准教授と、「電気を使った拡張味覚」という英論文を発表し、微弱な電流を流すストローや箸、フォークを使うことによって舌での電流の流れ方次第で、飲み物や食べ物の味が増強されることなどを示した実績が評価されました。

中村特任准教授は「電気味覚は新しい味覚をつくることに貢献できると思うとし、栄養価がないのでウェルネスと健康のバランスをとることができる」と話した。

宮下教授は「今後の電気味覚技術や任意の味を再現する味覚メディア技術への期待も込められた受賞だととらえて、これからも研究を推進したい」とコメントした。

私の食業も、主に機内食製造ですが、お客様の中には、宗教食・ベジタリアン、もっと厳粛なビーガン・グルテンフリー・ロウソルト、だったり様々ありますが、機内食では難しいかと思いがちです。

入院患者さん用の病院食だったり、自宅で注意しなければいけない方々は使えるのではないかと考えています。

数年後には味が付いていないが美味しく食べられる時代が来るかなと思っています。

◇ ロータリー青少年交換学生

日出学園高校 阿部 そよ花 様 ご挨拶



こんにちは。日出学園高校1年の阿部そよ花です。先日、候補生の選抜試験を受けて合格通知をいただきました。青少年交換プログラムを通して世界各国からの交換留学生と交流をして世界の事を知りたいと思いました。また、現地での日常をたくさん体験したり見て来たいと思います。そして学校の行事や地域活動に積極的に参加して自分にとって大切だと思える人達をたくさん作りたいと思います。最後に、学校や住んでいるところが成田からは少し離れていますが、このご縁を大切に、成田コスモポリタンロータリークラブの皆様、そして地域との深いかかわりを望んでいます。地域活動やボランティア活動などは是非一緒させて頂きいろいろと教えて頂けたら幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

お母様 阿部 有紀 様 ご挨拶



阿部そよ花の母、阿部有紀と申します。私は35年前、平山金吾さんが青少年委員をされていた時、カナダへ1年間、船橋RCより留学をさせて頂きました。その時の同じような経験を娘がさせて頂けることにとっても感謝をしております。また皆様スポンサークラブをお引き頂きまして本当にありがとうございます。私と主人は日本航空に勤務しておりましたので、成田という地域には愛着を持っておりますが、娘はこれから皆様に色々なことを教えて頂いて日本の魅力、成田の魅力を海外に伝えてきてほしいと思います。皆様どうぞいろいろと教えて頂ければと思います。主人からも皆様に心よりのお礼を申し伝えるという事を言われております。本日はどうもありがとうございます。これから、どうぞよろしくお願いたします。

◇ 米山記念奨学会委員会

米山記念奨学生のファワーズ ナウハル ムハマド様に
10月度奨学金が田中会長より贈呈されました。



[米山記念奨学生のファワーズ ナウハル ムハマド様より一言]



皆様、こんにちは。先月、米山奨学生の研修として山梨県・静岡県へ行ってきました。ロータリークラブがなぜこのような奨学金事業を行っているかなど歴史を学んだほか、奨学生に対しての思など、再確認できた良い研修旅行となりました。10月には卓話がありますので、しっかりと事前準備をして卓話をできたらと思います。引き続きよろしくお願い致します。

◇ 幹 事 報 告 長谷川 浩史 幹事



- 回 覧： 佐原RC週報・千葉西RC例会場移転の案内
- 例会案内・変更：
- そ の 他： ポリオプラス・ソサエティのご案内

◇米山記念奨学会委員会 奥村 國雄 委員長



本日は卓話に米山記念奨学生のウニバト様、そして地区米山記念奨学会委員の山藤利夫様に来ていただいております。

第 2790 地区 米山記念奨学会 委員 山藤 利夫 様 ご挨拶



本日は卓話にお招きいただきありがとうございます。2790 地区会員の皆様には日頃より米山記念奨学生事業に対する温かいご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。米山記念奨学会のPRをさせていただきます。米山記念奨金の主な目的は奨学生の育成と寄付の増進です。米山記念奨学会は 129 の国と地域、累計 21,600 名以上の奨学生が卒業し、年間事業費は 14 億円にもなる民間最大規模の国際奨学事業です。ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成するという事業の使命への期待は年々高まり、母国と日本を結ぶ架け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。優秀とは学業に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、異なる文化への理解、そしてコミュニケーション能力への意欲や能力に優れている点も含まれます。ロータリー米山奨学生はロータリークラブを通じて日本の文化、習慣などにふれて社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。また米山記念奨学金の制度は経済的な支援だけでなく世話クラブカウンセラー制度を設けて世話クラブの例会に月に一度出席しロータリー会員と積極的な国際交流・相互理解を深めるとともに、ロータリーの奉仕の心を学びます。以上の事から米山奨学制度の役割は今後さらに社会的に重要度・必要性が高まってくると考えております。次に寄付金についてですが米山奨学会への寄付金は 2 種類あります。一つは普通寄付金で日本の全ロータリークラブ会員からクラブを通じて定期的にいただく寄付です。二つ目は特別寄付金です。個人、法人、またはクラブから任意でいただく寄付金です。ロータリー関係者以外の一般個人、法人、団体からもお受けします。金額にきまりはありません。クラブ事務局から申請していただければ税制上の優遇措置も受けられます。2020 年からの新型コロナウイルスの影響で多くの皆様が大変な状況にあると思います。その状況ではございますが、このロータリー奨学生制度を続けるためにも普通寄付金とともに、鶴沢ガバナーが寄付金の目標として、1 人 15,000 円としております。広く皆様のご協力を頂戴したいと思います。

卓 話 米山記念奨学生 ウニバト 様



本日は貴重なお時間を頂きありがとうございます。私は内モンゴルのシリングゴルというところの出身です。2016年に日本に来まして、2018年に千葉大学に入学し生態人類学について学んでおります。研究テーマとして、内モンゴルの牧畜民の定住化と水入手問題を扱っています。

モンゴルは、モンゴル国、ブリヤードモンゴル、内モンゴル自治区と3つに分かれています。内モンゴル自治区は中国の中にあります。調査地域は内モンゴル中部のスンドというところで49の村で構成されています。

1. 社会・気候変動下における牧畜民

中国・内モンゴルでは急激な社会と自然環境変動が起きています。

社会変動は、1950年代から社会主義化を経て1980年代から家畜と土地の私有化といった国家の政策に要因とするものです。1980年代から土地の実質的私有化とそれともなう牧地の囲い込みによって、牧畜民は定住化しました。

気候変動においては、内モンゴルでは年間平均降水量の減少、平均気温の上昇が観察されています。それともなう、猛暑日の日数は増え、冬日の日数は減っています。河川流量の減少、湖水の枯渇、地下水位の低下が起きています。

さらに、牧畜民の定住化は、土地荒廃、牧草や飼料の購入負担増や飼料栽培の拡大などさまざまな問題を引き起こしています。なかでも、本稿で取り上げる家畜飲用水の入手問題が生じています。

2. 水資源アクセスへの困難

牧畜民は定住化により井戸へのアクセスが比較的容易と困難な世帯が生じました。牧畜民にとって井戸は生活用水としてだけでなく、家畜の飲用水源として欠かせないものです。井戸のない世帯は別世帯の牧地にある井戸から必要な水を運んで来なくてはなりません。

スンド左旗は内モンゴルの中部草原地域であり、乾燥・半乾燥地域に所属されています。スンド左旗の中部一つの村では、全98世帯のうち、約80%にあたる78世帯の分配された牧地に井戸がありません。内モンゴルでは村のことをガチャと言われています。

3. 対応

牧畜民は水を運搬して利用するために大型トラックの整備が必要になっています。水の運搬距離はそれぞれで5から50キロメートルの程度です。そして、水運搬には多大な労力や時間を費やしています。または燃料費、運搬手段、使用料など大きなコストを負担せざるをえなくなっています。

政府も、牧畜民も、こうした水の運搬作業解消の解決策は深井戸の設置としています。深井戸の設置費用は高額です。また、設置された深井戸の水質の悪いことが問題になっています。上記98世帯の村で22基深井戸が設置されています。しかし、人間が利用できる深井戸は2基のみです。その原因は近隣にある化学工場による水汚染ではないかと牧畜民は考えています。土地の分配による井戸の有無は牧畜民の牧畜生活に大きな影響を与えています。





◇ 点 鐘 田中 英之 会長

☆ 本日の料理



◇ 出席報告 *メーキャップは前後2週間です。

	日 付	会員数	免 除	出 席	欠 席	M U	出 席 率	補 正 出 席 率
前々回修正	9 月 27 日	70 名	5 名	36 名	31 名	2名		55.07%
本日例会	10月11日	70 名	5 名	25 名	38 名	6名	44.93%	

・ 成田コスモポリタンロータリー・クラブ事務局

〒286-0106 成田市取香 500 ホテル日航成田内 TEL/FAX 0476-24-5044

・ 例会場 ホテル日航成田内 TEL 0476-32-1144 FAX 0476-32-0022